

# 防災啓発

昨年は、梅雨前線の活発化による集中豪雨や、過去に例のない10個を超える台風が上陸し、日本各地で大雨や土砂災害による被害が多発しました。

さらには新潟中越地震やインドネシア・スマトラ沖地震が発生し、自然災害の恐ろしさを痛感した年でした。今後、梅雨時期から台風シーズンにかけ、大雨や集中豪雨が予想されます。非常用持出品や避難場所等について家族で話し合い、いざというときのために備えましょう。

台風や大雨による災害はある程度予想ができます。テレビやラジオの気象情報や市役所からの情報に注意して行動しましょう。

いなべ市では、インターネットにつながっているパソコンまたは携帯電話から下記のアドレスへアクセスすれば雨量情報がリアルタイムに確認できますのでご活用ください。

- インターネットアドレス <http://www.city.inabe.mie.jp/~sabou/hp/index.html>
- iモード・ポータフォン <http://www.city.inabe.mie.jp/~sabou/iv/index.html>
- 携帯電話 EZ-web <http://www.city.inabe.mie.jp/~sabou/e/index.html>



雨量と降り方の関係は次のとおりです。

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車内	災害発生状況
10~20	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元が濡れる	雨の音で話声が良く聞きとれない	地面一面に水たまりができる		この程度の雨でも長く続く時は注意が必要
20~30	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていても濡れる	寝ている人の半数くらいが雨に気づく		ワイパーをしても見づらい	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る			道路が川のようにになる	高速走行時、車輪と路面の間水膜が生じブレーキが効かなくなる	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要
50~80	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり視界が悪くなる		土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する
80~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感があり恐怖感を感じる				車の運転は危険	雨による大規模な災害の発生のおそれが強く、厳重な警戒が必要

## 土砂災害防止月間 6/1~30

梅雨の季節になり、雨が多くなると土砂災害の発生が懸念されます。「土石流災害」「地すべり災害」「がけ崩れ災害」などの土砂災害の被害にあわないよう、普段から雨に注意し、長雨や大雨で危険だと思ったら、早めに避難しましょう。

1時間に20ミリ以上または降り始めから100ミリ以上の雨が降ったら十分な注意が必要です。